

議会 だより

 **こがし
古河市**

第 **61** 号

令和元年 12月 1日
編集／議会だより編集委員会
発行／古河市議会
ホームページ

古河市議会

検索



練習の成果をご覧ください！（いきいき茨城ゆめ国体2019）

令和元年 第3回定例会 開催

第3回定例会は8月29日から9月13日までの会期16日間で開かれ、諮問1件、報告12件、議案28件、決算認定15件について審議しました。9月5日、6日、9日の3日間にわたり、一般会計決算特別委員会、特別会計・企業会計決算特別委員会において、一般会計、13特別会計および水道事業会計の決算を審査しました。

一般質問は9月10日、11日、12日の3日間行われ13名の議員が登壇しました。請願2件、陳情1件については、3ページの請願・陳情一覧表のとおりとなりました。

また、定例会初日に議員および執行部全員が同じポロシャツを着用し、茨城ゆめ国体をPRしました。

令和元年第3回定例会 議決一覧表

議案等番号	件名	議決日	議決結果
諮問第6号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	1.8.29	同意
議案第63号	古河市開発行為、建築等に関する手数料条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第64号	古河市森林環境譲与税基金条例の制定について	1.9.13	原案可決
議案第65号	古河市印鑑条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第66号	古河市福祉、保健及び医療に関する施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第67号	古河市保育所設置条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第68号	古河市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第69号	古河市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第70号	古河市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第71号	古河市特定教育・保育等の利用に関する条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第72号	古河都市計画事業古河駅東部土地区画整理事業施行に関する条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第73号	古河市建築基準条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第74号	古河市水道事業給水条例の一部改正について	1.9.13	原案可決
議案第75号	財産の取得について	1.9.13	原案可決
議案第76号	R1古河市サッカー場フィールド改修工事請負契約締結について	1.9.13	原案可決
議案第77号	市道の路線廃止について	1.9.13	原案可決
議案第78号	市道の路線認定について	1.9.13	原案可決
議案第79号	平成30年度古河市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	1.9.13	原案可決
議案第80号	令和元年度古河市一般会計補正予算(第3号)	1.9.13	原案可決
議案第81号	令和元年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	1.9.13	原案可決
議案第82号	令和元年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)補正予算(第1号)	1.9.13	原案可決
議案第83号	令和元年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第1号)	1.9.13	原案可決
議案第84号	令和元年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第2号)	1.9.13	原案可決
議案第85号	令和元年度古河市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号)	1.9.13	原案可決
議案第86号	令和元年度古河市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	1.9.13	原案可決
議案第87号	令和元年度古河市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	1.9.13	原案可決
議案第88号	令和元年度古河市ゴルフ場事業特別会計補正予算(第1号)	1.9.13	原案可決

議案等番号	件名	議決日	議決結果
議案第89号	令和元年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	1.9.13	原案可決
議案第90号	令和元年度古河市水道事業会計補正予算(第1号)	1.9.13	原案可決
認定第9号	平成30年度古河市一般会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第10号	平成30年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第11号	平成30年度古河市国民健康保険特別会計(直診勘定)歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第12号	平成30年度古河市古河福祉の森診療所特別会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第13号	平成30年度古河市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第14号	平成30年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第15号	平成30年度古河市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第16号	平成30年度古河市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第17号	平成30年度古河市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第18号	平成30年度古河市ゴルフ場事業特別会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第19号	平成30年度古河市古河駅東部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第20号	平成30年度古河市片田南西部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第21号	平成30年度古河市公共用地先行取得特別会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第22号	平成30年度古河市仁連地区新産業用地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	1.9.13	認定
認定第23号	平成30年度古河市水道事業会計決算認定について	1.9.13	認定
議員提出 議案第1号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	1.9.13	原案可決

◆色付き部分は賛否が分かれた案件

請願・陳情一覧表

番号	件名	提出者	審議結果
令和元年 請願第5号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	茨城県教職員組合 杉山 繁 ほか515名	採 択
令和元年 請願第6号	諸川東松原地内、通学路冠水被害の対策整備に関する請願	諸川東松原行政区 区長 佐山 盛雄 ほか61名	採 択
令和元年 陳情第6号	シルバー人材センター「損害保険の契約内容」の見直しに関する陳情	後藤 修一	不採択

賛否の分かれた議案等

○賛成、×反対

議案等番号	政友会					古河市公明党					真政会				市民ベースの会					無会派				
	鈴木隆	佐藤泉	大島信夫	鈴木務	小森谷博之	渡邊澄夫	渡辺松男	高橋秀彰	佐藤稔	鶴見久美子	黒川輝男	赤坂育男	青木和夫	稲葉貴大	園部増治	落合康之	増田悟	倉持健一	阿久津佳子	長浜音一	生沼繁	小山高正	古川一美	秋庭繁
議案第64号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
議案第67号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
議案第68号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
議案第69号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
議案第71号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
認定第10号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
認定第13号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
認定第15号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
認定第16号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
認定第17号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
認定第18号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
認定第19号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
認定第22号			○					○				○			-	○	○		○			○	○	×
認定第23号			○					○				○			-	○	×		○			○	○	×

※議長は表決に加わらないため「-」と表示。

平成30年度 各会計決算を認定

9月5日、6日、9日の3日間にわたり、正副議長および議会選出監査委員を除いた21名の議員が一般会計決算特別委員会、特別会計・企業会計決算特別委員会に分かれ、一般会計、13特別会計および水道事業会計の決算を審査しました。

各会計の決算額

単位：円

		認定番号	平成30年度歳入決算額	平成30年度歳出決算額
一般会計		第9号	50,284,069,085	49,175,936,892
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	第10号	15,476,646,848	15,476,646,059
	国民健康保険(直診勘定)	第11号	59,163,313	58,618,816
	古河福祉の森診療所	第12号	141,199,937	139,458,922
	後期高齢者医療	第13号	1,339,442,618	1,337,515,513
	介護保険(保険事業勘定)	第14号	10,261,253,827	9,975,521,193
	介護保険(介護サービス事業勘定)	第15号	21,159,981	20,583,790
	公共下水道事業	第16号	3,807,113,749	3,700,995,289
	農業集落排水事業	第17号	715,873,459	683,903,392
	ゴルフ場事業	第18号	89,635,937	82,102,225
	古河駅東部土地区画整理事業	第19号	1,219,446,077	1,155,081,795
	片田南西部土地区画整理事業	第20号	710,752	710,284
	公共用地先行取得	第21号	159,168,498	159,168,498
仁連地区新産業用地開発事業	第22号	738,934,438	738,759,438	

水道事業会計

単位：円

認定第23号	平成30年度決算額
収益的収入	2,658,647,331
収益的支出	2,146,799,782
資本的収入	418,809,764
資本的支出	1,492,536,160

水道事業の概要

	平成30年度末
給水戸数	59,185戸
給水人口	139,732人
給水普及率	95.7%
給水量	16,398,356 m ³
有収水量	14,248,348 m ³
有収率	86.9%

決算特別委員会

決算特別委員会での主な質疑と答弁をお知らせします

◆一般会計(歳出)

○インターネット広報事業

問 コガノイロの現在までの登録者数を伺う。また、登録者数を増やすことによりコガノイロの認知度が上がるため、まなびピアこが等でのPRをお願いしたい。

答 コガノイロ登録者数は7月末時点で3,156件である。ダウンロード数、登録が伸び悩んでいるため、まなびピアこがでのPRも含め、いろいろ検討していきたい。

○ふるさと納税推進事業

問 寄附金の使い道はどうか。また、その内容をホームページ上で公開すべきと考えるがどうか。

答 寄附金をいただく際に、総合計画に沿った7つの施策から選んでいただいている。平成30年度は、子ども夢基金、子育て拠点整備事業等の12の事業に充てている。ホームページの公開については、現在準備をしているところである。

○消防団活動事業

問 消防団員の人数確保については大変厳しい状況であるが、どう考えているか。また、費用弁償等はどのようになっているのか。

答 消防団員の人数確保については喫緊の課題であり、27分団には、定員割れしているところもある。火災による出勤に対しては1回につき4,000円、会議等は2,000円など、少しでも団員の負担を和らげられるよう、費用負担をしている。

平成30年度決算に対する各会派の意見

政友会

平成30年度の一般会計実質収支は10億円超の黒字で、財務の判断基準では健全である。自治体の財政支出は、地域経済の活性化に資するものである。したがって、より積極的に将来の市の発展を見据えた公共投資が必要な場合もあると考える。

鈴木 隆	佐藤 泉
大島 信夫	鈴木 務
小森谷博之	渡邊 澄夫

古河市公明党

平成30年度の一般会計の決算は実質収支、約10億円の黒字である。今後も新たな企業誘致、子育て世帯等の定住促進の継続的な推進と、将来を見据えた様々な事業推進が不可欠である。そのためにも、自主財源確保と、各産業の振興等の積極的な取り組みを望む。

渡辺 松男	高橋 秀彰
佐藤 稔	鶴見久美子

真政会

一般会計および各特別会計において、概ね的確で健全な予算執行がなされ、良好な行政運営がされていると思われる。しかし、歳入面で市税の徴収においては、収入未済額、不能欠損額が大きく、納税者の公平性を保つ上でも改善されるよう更なる努力を期待する。

黒川 輝男	赤坂 育男
青木 和夫	稲葉 貴大
園部 増治	

市民ベースの会

歳入は市税等が増加する一方、地方交付税等の減少で10億円以上の減収となった。特に収入未済や国保税の法定外繰入が顕著である。税負担の公平性から税金の未納対策をしっかりと行い、歳出においては市民ニーズに応える施策の展開と事業の健全運営を切に望む。

落合 康之	増田 悟
倉持 健一	阿久津佳子
長浜 音一	生沼 繁

会派に属さない議員

行財政改革により全体的にメリハリの効いた予算執行になっていたと感じる。今後も市民ニーズに沿ったスリムな行政運営を望む。

事業の成果・結果から反省点を明確にし、改善に向けて着実に進めていただきたい。市民に寄り添ったサービスの質の向上を望む。

国保税の大幅値上げ、県事業の肩代わりの筑西幹線道路整備、仁連工業団地開発など開発優先、福祉切り捨てであり、賛成できない。

小山 高正

古川 一美

秋庭 繁

第3回
定例会

一般質問

第3回定例会の一般質問は、9月10日、11日、12日の3日間行われ、13名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行部に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずねるため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



小森谷 博之 議員

幼児教育・保育無償化に伴う待機児童の対応について

問 本年10月より幼児教育・保育無償化が実施される。今まで保育料を気にして働きに出るのをちゅうちょしていた母親や、保育料が家計を圧迫していた世帯にはありがたい施策であり、共働きが増えることにより、保育施設に預ける親が増加することが考えられる。市ではどのように対応していくのか。

答（健康福祉部長） 3歳以上児

全員、ゼロ歳から2歳児の住民税非課税世帯が対象となる。主に影響のある3歳から5歳児の31年4月1日現在における保育所、幼稚園等の受け入れ可能定員3,656人に対し、人口は3,317人と定員のほうが多い。3歳以上の児童は課題が生じる見込みは低いですが、満3歳での入園は増加することも予想されるため、各施設の受け入れ状況を把握しながら対応していきたい。

潜在的待機児童への対応について

問 厚生労働省によると待機児童は16,772人、一方で待機児童に算入されない潜在的待機児童は約74,000人いるとされ、依然2つの数字の差が大きくなっている。そこで、古河市の現状と、

今後どのように考えるかを伺う。

答（健康福祉部長） 平成31年4月1日現在の待機児童は15名で、ゼロ歳から2歳児である。

潜在的待機児童は238名で、内訳は、育児休業期間中で入所を要しない児童が73名、認可保育施設と同等の施設入所の児童が20名、第1希望のみの入所申請等特定の保育施設希望の児童が145名である。市としてまずは本来定義の待機児童の解消に努め、産み育てやすい古河市を目指し、鋭意努力していきたい。





鈴木 務 議員

環境問題について

問 地球温暖化は確実に進行している。最大の原因である温室効果ガスは二酸化炭素（CO₂）が76%を占め、エネルギーをつくるときに多く発生する。地球温暖化の防止には私たち一人一人の取り組み意識がとても大切である。家庭や事務所の中でもエネルギーの消費を抑えることでCO₂の排出量を削減できる。①古河市環境基本計画について伺う。さらに、②身近なみどり

整備推進事業とはどのような施策なのか③可燃ごみ（生ごみ）の減量化対策④一般ごみ不法投棄対策について伺う。

答（生活安全部長） ①平成23年度から10年間を計画期間とし、自然環境等5つの環境目標について取り組んでいる。各取り組みをAからEで評価し、188項目のうち147項目が合格点のC以上である。未達成の項目は令和3年度からの新しい環境基本計画に引き継ぎ、SDGs^(※)も取り入れ、さらなる環境施策の充実に努めていきたい。③生ごみ処理機購入費の補助を行っており、家庭ごみの自家処理を促進している。今後も広報等で周知を行い、ごみの減量化に取り組んでいきたい。④不法投棄は

人間の道徳性によるところもある。法で対処できる部分は厳正に対処したい。また、定期的なパトロールを行っているが、監視の目等市民の皆さまの力もお借りしていければと考えている。
答（産業部長） ②古河市森林整備計画区域内の荒廃した平地林等を県の森林湖沼環境税を活用し、地権者と市で森林保全に関する協定を結び実施する事業である。今後も補助制度等を活用し、平地林の健全な維持管理、保全に努めていきたい。



平地林・里山林の保全標識

※SDGs…「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。



鶴見 久美子 議員

新4号国道アクセス道路について

問 新4号国道アクセス道路は、地元地域、近隣の方々の期待の大きい道路である。現在の用地買収率と事業進捗率、農業用排水路へ排水される雨水対策の問題点について伺う。また、残っている用地の地権者への今後の対応と事業計画について伺う。

答（都市建設部長） 8月末現在の用地買収率は95.51%、事業進捗率は事業費ベースで64%、施

工割合による換算値ベースで22%である。道路雨水の排水は、関東・東北豪雨のような場合を除き、用排水路があふれることはないと認識しており、台風15号の際もあふれた痕跡はなかった。用地取得については、用地交渉が難航していた地権者とも今年に入り交渉ができた。引き続き残る用地の取得を進め、取得でき次第順次工事に着手し、早期完成に努めていきたい。

災害対策について

問 近年、異常気象のたびに各地で大きな被害が出ている。行政として、避難所の環境改善が大切である。市の避難所の状況について伺う。また常温で保存でき、お湯で溶かす必要がない

液体ミルクは、災害時の備蓄物資として必須だと考えるが、導入する考えはあるか伺う。

答（生活安全部長） 市では指定避難所を32カ所指定している。本年8月末時点での主食の備蓄率は約45%であるため、今後計画的に購入を進め、令和4年度には備蓄率を100%にしたい。

お湯を必要としない液体ミルクの導入は有効である。予算や数量、事業者との災害時の協定締結等、幅広く検討をしていきたい。





高橋 秀彰 議員

教員の働き方改革について

問 さまざまな課題を抱える学校現場において、チームとして学校組織マネジメントの視点を持った運営体制の強化が必要である。また、教育現場における教員の負担軽減につながる教育活動指導員やスクールサポートスタッフ等の人材の活用にもさらに取り組む必要がある。さらに、給食費や旅行積立金、教材費等の学校徴収金の扱いについても、今後、教員負担がない

よう取り組む必要があると考える。これら教員の業務負担軽減に向けた、働き方改革を図ることで、教員が子供と向き合う時間を十分に確保し、授業や教材研究といった本来の業務に集中できるように、取り組んでいく必要があると考えるがどうか。

答（教育長） 勤務時間管理システム「きんむくん」を全校に導入、勤務時間が極端に多い教員については声かけ等を行っている。教育委員会として教員が本来の仕事をもっと十分にできるように図っていききたい。

答（教育部長） チームとして学校の理念のもと、教員の業務については教育委員会や専門の人材、保護者、地域ボランティア等の役割分担を進めていくため、

連携を担うことが必要とされる。校長を中心とした管理職がリーダーシップを持ち、学校組織マネジメントを進めていきたい。スクールサポートスタッフ等の活用については、教員の負担軽減を図るため、本年度、県の事務嘱託員2名を市内の学校に配置しており、今後も事業を継続していききたい。学校徴収金については、現在ネットバンキングを利用した電子決済化を進めている。少しでも学校での教職員等の負担軽減が図られるように進めていきたい。



佐藤 稔 議員

幼児期からの「アクティブ・チャイルド・プログラム」の推進について

問 幼児期から遊びを中心とした身体活動を行うことは、多様な動きを身につけるだけでなく、心肺機能や骨形成にも寄与し、生涯にわたっての健康維持や、何事にも積極的に取り組む意欲を育むことができる。豊かな人生を送るための重要な基礎づくりになる事が期待されるが、プログラムに関する市の今後の取り組みについて伺う。



ACPのガイドブック

答（教育部長） スポーツ推進計画にアクティブ・チャイルド・プログラムを取り入れているところである。市でも子どもの体力低下が進んでおり、幼児期からの運動の仕掛けづくりは大きな課題である。今後は、プログラムを課題解決策の一つとして、内容等の検討を進めていきたい。

SNSによる「悩み相談窓口」の活用について

問 気軽に相談することができ

るSNSを活用した、自殺予防のための窓口と、中高生のいじめ相談窓口の設置を提案するが、市の考えを伺う。

答（健康福祉部長） SNS相談を実施している厚生労働省推奨の団体に市のホームページからアクセスできるよう、相談窓口の拡大、周知に努めていく。

答（教育部長） 課題として、文字情報や画像の添付はあるが、相談者の真意の把握に時間がかかり、相談を受ける側に相当能力が必要な点がある。県の結果等を精査し、対応していききたい。

《その他の質問》

・合併浄化槽への転換促進について



阿久津 佳子 議員

市民サービス向上について

問 行政サービスにおいて職員定員適正管理と人材確保が最も基本である。しかし、国・県の権限移譲に伴う事務量増大により職員のワーク・ライフ・バランスやメンタルヘルスが損なわれている。また、職員の時間外勤務形態から見えてくる課題も多い。①課題解決のために業務情報のデジタル共有化、承認権限電子決裁システムなど業務体系全体の見直しや歳出削減につ

ながるシステム構築が急務と考えるが、その導入について②人材育成、職場の環境整備や風土の醸成を今後どのように行っていくのかを伺う。

答（市長） ②働き方改革に向けて、安心して健康に働ける職場の環境整備を行うことにより、心豊かな職員を育成していくことがよりよい市民サービスの実現につながると考えている。古河市職員人材育成ビジョンの3つの柱として、人事制度・研修制度・職場風土で伸ばすを基本とし、新たな課題に積極的に挑戦できる人材の育成に取り組んでいきたい。

答（総務部長） ①電子決裁を導入しているところが県内で4カ所ある。現在使用している文書

管理システムのバージョンアップも研究しながら、導入に向けて検討を進めていきたい。また、職員の時間外勤務を伴うイベント等の動員については、委託できるものは業務委託し、今後も業務改善に伴う工夫や委託による費用対効果などを検証しながら、時間外勤務についての課題を検討していきたい。



古河市役所（古河庁舎）

《その他の質問事項》

・子育て支援について



生沼 繁 議員

ファシリティマネジメント（公共施設の管理）について

問 ①古河体育館は耐震性に問題があり、雨漏りや床の老朽化も甚だしく、大規模な修繕か建て替えが必要と考えるが今後の方針を問う。②小中学校のプールは維持管理、修繕に費用がかかり、老朽化により利用できない学校（公共・民間施設を利用）が今後も増える状況だが、夏季のみに限定せず、年間を通じて水泳授業を行うなど柔軟な対応の考えを問う。

答（教育部長） ①古河体育館については、公共施設総合管理計画、FM計画の個別計画を踏まえ、来年度中に今後の活用の検討組織を立ち上げ、方向性の具体化を図りたい。②現在プールを使用できない学校については、プール授業の期間を5月から10月までに延長して対応している。今後も柔軟な対応に努めてまいりたい。



雨漏りがひどい古河体育館

市民の防災力の向上について

問 災害時には自ら命を守ること（自助）が大切であるが、個人で学ぶには限界がある。防災力強化に必要な知識や技術を伝授する防災リーダーやその育成が有効な手段であるが考えを問う。

答（生活安全部長） 防災について、普段から地域住民に対して適切な指導やアドバイスができる地域の人材を育成していくことは、防災力の向上につながる。水防説明会や出前講座等の機会を生かし、防災リーダー育成の気運を高めるとともに、防災リーダー養成講座の開催等を検討していきたい。



落合 康之 議員

教育推進について

問 ①中学生の英検受験料の補助について、近隣市町村の状況はどうか。また、古河市は同様に補助を行う考えはあるか。

②県内では水戸、龍ヶ崎、日立、つくば・土浦、常総、鹿島、取手に英検の本会場が設けられているが、県内5番目の人口を誇る古河市に本会場を誘致する考えはあるか。

③本会場と準会場の違いについて説明いただきたい。また、

本会場を古河市に誘致するメリットは大きい。教育推進都市古河を目指す考えはあるか。



答 (教育長) ①県内44市町村で補助を出しているのは7つである。古河市でも出せるように前向きに検討している。

②十分検討した上で答えを導きたい。

③準会場は金・土・日曜日、本会場は日曜日のみ実施できる。また、準会場は本会場よりも受験料が1,000円安い。英語検定

が古河市で受験できれば、教育推進都市古河のPRにつながる。検討を重ねていきたい。

(再質問) 準会場では2級までしか受けられない。古河市だけでなく近隣の人も古河市で受験できればメリットも大きくなると思うがどうか。

答 (市長) 人を呼び込む上からも、優先順位の高い施策であるので、なるべく早く実行できるよう検証、検討していきたい。

《その他の質問》

- ・自治組織への補助金等の見直しについて
- ・副市長就任2カ月が経過して



長浜 音一 議員

英語・ICT・STEM教育および教員の勤務実態について

問 小中学校教育において、英語特区の指定を受けた英語教育推進事業、ICT環境の整備、さらに新しい教育の在り方として、STEM教育^(※)の取り組みが必要である。一方で、教員の労働環境は非常に厳しい。そこで、①英語②ICT③STEM教育の取り組みについて④教員の労働環境の改善策について伺う。

答 (教育長) ④中学校免許を持

つ方に小学校の臨時免許証を発行する等の措置を行った。市では部活動の練習時間縮減など、他地区に先駆けて実施している。



ロボットプログラミング教室

答 (教育部長) ①昨年度からイングリッシュキャンプを開催している。今後は英語で積極的にコミュニケーションができる子どもたちの育成に努めたい。②ICT機器は現在5人に対し1台の割合である。古河市教育振興基本計画で掲げる3.6人に対し1台の目標を達成できるよう

努めたい。③大和田小学校等のプログラミング教育に関する研究を市内の小中学校で共有し、指導助言していきたい。

ネットワークを活用した会議で業務改善を

問 現在、各庁舎での会議や議会等は、職員の車移動により開かれているが、職員の負担軽減や業務効率を考慮すれば、ネットワークを活用した会議の早期導入が求められるが執行部の見解を伺う。

答 (総務部長) 定例会中は関係課長等が全員協議会室において議会中継を傍聴し、議会対応している。事務効率化のためにも3月議会までには費用面も含め、適切な議会対応を考えたい。

※STEM教育…科学・技術・工学・数学の教育分野を総称する語。



青木 和夫 議員

都市基盤の整備について

問 現在の古河市の道路網は、南北の路線は充実しているが、東西の路線が非常に少ないので交通渋滞を起こしている。渋滞解消のために、現在整備している筑西幹線道路の延長を提言する。また、市民が日常生活で支障をきたしている生活道路の整備を早急に進めていただきたい。

答（都市建設部長） 筑西幹線道路に連絡する道路の整備につい

て、県道境間々田線からさらに西への事業化については、都市計画道路の見直しとともに、再検討していく。生活道路の整備については、限られた予算および人員配置の中で効果を発揮できるように事務の効率化を図り、整備を行っていききたい。

古河駅東部土地区画整理事業について

問 区画整理地内に文化施設建設用地を求めるとすると十間通りに面した南側しか残っていない。市のためなら協力するという話も聞いている。今後の土地利用を含め地権者の意向を聞く必要があると思うが考えを伺う。

答（企画政策部長） 市民の芸術

文化活動の拠点となる文化施設の整備検討に当たっては、市全体の土地利用や市民の意見を伺いながら総合的に勘案する必要があると認識している。

答（都市建設部長） 地権者の意向調査については、調査結果をもとに事業費の削減、早期完成につながるものがあれば事業に取り入れていきたい。

開発の進む
古河駅東部土地区画整理事業

《その他の質問》

・入札について



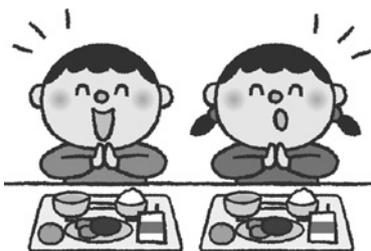
古川 一美 議員

自校給食室の環境改善について

問 子どもや保護者から大変評判のよい自校給食だが、給食室に空調設備がないため、高温多湿で労働環境が非常に悪く、安全面も心配だとの声を聞く。①必要性を把握していても改善されない理由②今後の対応について伺う。

答（教育部長） ①スポットクーラー設置等の対策は講じているが、根本的な解決には至ってい

ない。②現在空調機の設計等準備を進めており、設置は来年夏休み頃を予定している。



英語特区事業について

問 グローバル社会で活躍できる人材育成のために進めているが①今までの成果②目指す成果について伺う。③テレビ電話での海外の子どもとの交流や海外研修等、夢や目標を持って挑戦できる事業を将来的に検討してはどうか④世界に関心を持ち、先進国である日本人として世界

に貢献するという視点を養うため長期ビジョンを持った英語教育が必要と考えるが所見を伺う。

答（市長） ④英語に限らず、外国語をより重要視する傾向にあり、古河市民のグローバル化に向かって行政としても努力しなければならないと考えている。

答（教育部長） ①イングリッシュキャンプにおいて、子どもたちが積極的に英語で話しかけるようになった。②英語検定の受験率を高め、英語特区の中で学んだ子どもたちの英語でのコミュニケーション能力を深めていきたい。③ネットでの交流等は理想型である。そういった未来像を持ちながら、まずは基礎をしっかり定着させたい。



秋庭 繁 議員

市長の選挙公約「スリーゼロ」について

問 ①「待機児童ゼロ」といいながら、0、1、2歳の待機児童が15名もいる。第一希望がかなわなく、断念した人を含めると25名の待機児童がいるのに公立保育所（第一・第五・関戸保育所）の廃止は反対である。

保育の質の向上に欠かせない公立保育所の正規保育士は50名足らず、残りは臨時または非常勤保育士である。採用計画について伺う。また、②平成27年

276人、平成28年273人、平成29年295人、平成30年224人の介護施設待機者がある。第7期介護保険事業計画では80床の計画をしたが、「介護施設待機ゼロ」はいつ、どのように達成するのか。さらに③「医療難民ゼロ」、④65歳以上で免許証の自主返納者等にぐるりん号の回数券、愛・あい号のチケット等の一人1回限りの交付が始まるが、毎年交付する「シルバーパス」創設についても伺う。

答（市長） ①待機児童数は減少傾向にあり、施設の集約化により定員増につなげることや施設の老朽化による安全性の問題等を判断し、今回の経緯に至った。②地域の課題やニーズを把握し、第8期介護保険計画の策定を行っ

ている。施設整備に関しては、介護サービス給付費と介護保険料への影響を勘案した上で検討し、介護施設待機者ゼロを目指していきたい。③医師不足の解消については、引き続き県、医療機関に要望するなど解消に努めていきたい。

答（総務部長） ①保育士の採用については、一昨年から採用計画に基づき採用している。④継続的な交付については、財政負担も考慮しながら慎重に検討したい。

保育所から始まったまちづくり
(第五保育所)

小山 高正 議員

学校教育について

問 不登校児童への対応には多様性を持った教育が必要である。児童・生徒の身の回りで起こる諸問題の解決にはスクールソーシャルワーカーが必要であると考え、以下の項目を問う。

①市でネットスクールにどうしても通わせたい方がいたとき通わせることができるのか。

②スクールソーシャルワーカーは地域の実情をわかる方が適任と考えるのがいかがか。

答（教育長） ①希望する子どもや家庭があった場合には、教育委員会が情報を提供して学校、家庭との連携を密にするため協力していきたい。②その地域に精通した方や学校に勤務した方等、地域の実情を理解していることは、大変大きな武器であると考え。



市民生活について

問 高齢運転者の免許証返納後について①生活インフラの整備をどのようにしていくのか。②

日々の生活に支障がないような地域の「小さな拠点」づくりが必要だと考えるのがいかがか。

答（総務部長） ①10月からぐるりん号や愛・あい号の利用券の交付を行う予定である。また、高齢者の外出支援として、高齢者通院等交通費助成などの事業を行っている。

答（健康福祉部長） ②コンビニエンスストアは、現在でも市の証明書発行や公共料金の取り扱い等、まちづくりに欠かせないインフラと捉えている。また、地元企業とは高齢者等見守り活動に関する協定を締結している。今後もニーズを把握しながら進めていきたい。

議員研修会を 開催しました



去る8月20日、寺島渉氏（長野県飯綱町前議会議長）を講師に招き、『議会力・議員力の発揮へ「地方議会改革を实践する」』をテーマに、全議員参加のもと議員研修会を開催しました。

議会を傍聴しませんか！

市議会はどこでも傍聴することができます。

- 傍聴の手続き
当日に議会事務局で住所、氏名を記入していただきます。
本会議場の定員は62名（うち車いす席2名）です。
- 傍聴場所
古河市役所古河庁舎3階

★第3回定例会の傍聴者数★

本会議	57人
委員会（特別委員会含む）	2人
議場コンサート	18人
合計	77人

※傍聴者数は延べ人数

◆◆◆ 令和元年 第4回定例会の会期予定 ◆◆◆

月日	会議	内容
12月3日（火）	本会議	開会、議案の説明
12月4日（水）	休会	議案調査
12月5日（木）	本会議	質疑、議案の委員会付託
12月6日（金）	常任委員会	総務常任委員会、産業建設常任委員会
12月9日（月）	常任委員会	文教厚生常任委員会
12月10日（火）	本会議	議場コンサート、一般質問
12月11日（水）	本会議	一般質問
12月12日（木）	本会議	一般質問
12月13日（金）	本会議	委員長報告、質疑、討論、採決、閉会

- 時間は午前10時からの開催予定です。
- 産業建設常任委員会は午前10時15分からの開催予定です。
- ※変更される場合もありますので議会事務局までお問い合わせください。

議会の様子を見てみよう！

古河市議会ホームページ、または下記QRコードからご覧になれます。

古河市議会 中継 検索

QRコード



編集後記

新元号の令和元年もあと暦一枚、師走の時季となりました。今号では、平成30年度の各会計決算審査や議案審議の内容、一般質問や決算に対する会派の意見を掲載しています。「令和」初春のよき月夜で、空気は澄んで風は和らぎのごとく議会の情報を分かりやすく発信し、より身近な議会として多くの市民の皆さまに親しんでいただける議会広報をお届けしてまいります。

副委員長 阿久津 佳子

【議会だより編集委員会】

委員長 鈴木 務
副委員長 阿久津佳子
委員 小森谷博之 稲葉 貴大
高橋 秀彰 生沼 繁

古河市議会事務局
古河市長谷町38番18号
☎0280-22-5111（代）